



# 共同利用・共同研究成果発表会

日時：令和 2 年 2 月 27 日（木）13：00～18：15

令和 2 年 2 月 28 日（金）9：30～15：00

※COVID-19の影響により  
開催中止となりました

会場：高知大学 海洋コア総合研究センター セミナー室

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通じ、地球環境変動の要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として設立された共同利用研究施設です。この成果発表会は、広く全国の皆様に今年度の研究成果をご紹介します。

## 2月27日（木）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

13:00-13:10 開会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一

地球掘削科学共同利用・共同研究拠点 課題選定委員会委員長

国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門 首席研究員 池原 研

13:10-14:40（座長 池原 実）

O-01 「古原生代後期における有機炭素同位体比の変動 カナダ・ケープスミス帯」 元村 健人（九州大学）

O-02 「貧酸素環境で堆積した黒色頁岩／黒色泥から抽出された地球化学的独立成分とレアメタル元素濃集の関連」 矢野 萌生（東京大学）

O-03 「香川県小豆島・豊島における古第三系から得られた試料の元素含有量分析と堆積相解析比較」 山下 祐磨（信州大学）

O-04 「薩摩硫黄島長浜湾における鉄質沈殿物の堆積と地層への保存について」 堀 航喜（九州大学）

O-05 「泥火山・ガスチムニー・メタンハイドレート」 松本 良（明治大学）

O-06 「日本海北部、タートルトラフより産出したメタン由来自生炭酸塩のSr同位体比」 柿崎 喜宏（明治大学）

14:55-16:10（座長 浦本 豪一郎）

O-07 「チリ三重会合点で何が起きているのか—MR18-06航海表層コア・熱流量調査速報

—Geophysical& geological survey report at the Chile triple junction during MR18-06 cruise

」 木下 正高（東京大学）

O-08 「ICDP南アフリカ地下大深度地震発生場掘削コアの高知コアセンターでの非破壊分析」 小笠原 宏（立命館大学）

O-09 「南アフリカ金鉱山震源近傍掘削計画で採取された断層の物質科学的特徴」 横山 友暉（大阪大学）

O-10 「リッツォホルム湾の海底堆積物を用いた東南極氷床融解時期とメカニズムの解明」 菅沼 悠介（国立極地研究所）

O-11 「海底で採取した火成岩の磁気的研究 地殻とマンツルの磁化構造をデータで描く」 藤井 昌和（国立極地研究所）

16:15-18:15 ポスター発表 概要紹介、引き続いてコアタイム（座長 朝日 博史）

## 2月28日（金）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

9:30-10:45（座長 氏家 由利香）

O-12 「魚介類地方品種の遺伝的集団構造の把握と日本列島の成り立ちがそれらの集団構造の形成に及ぼす影響」 関 伸吾（高知大学）

O-13 「海生爬虫類化石モササウルス類の歯の支持様式の検討」 三島 弘幸（鶴見大学）

O-14 「現生イタヤガイの微細殻成長と土佐湾の沿岸海況」 近藤 康生（高知大学）

O-15 「相模湾産現生種キサゴUmbonium (Suchium) costatum に記録された酸素同位体比プロファイル」 中山 健太郎（福井県立恐竜博物館）

O-16 「現代海洋における鉛同位体比 これまでの知見と新たなアプローチ」 則末 和宏（新潟大学）

11:00-12:15（座長 岩井 雅夫）

O-17 「室戸ユネスコ世界ジオパークにおける漂着軽石の起源についての研究」 中村 有吾（室戸ジオパーク推進協議会）

O-18 「後期更新世の浅間火山起源テフラの化学特性とその分布範囲」 青木 かおり（首都大学東京）

O-19 「ItraxとXGTのXRF分析によるX線強度プロファイルの比較と火山起源イベント層の化学的特徴

福島県猪苗代平野地下ボーリングコア試料の例」 長橋 良隆（福島大学）

O-20 「松本—上田地域に分布する中新世別所層に産する炭酸塩団塊の成因」 森清 寿郎（信州大学）

O-21 「鹿児島県中甕島に分布する始新統中甕層を用いた古地磁気層序の確立」 山下 大輔（薩摩川内市役所）

13:15-14:45（座長 山本 裕二）

O-22 「Diagenetic formation of bedded chert: implications from a rock magnetic study

of siliceous precursor sediments」 Alexandra Abrajevitch（愛媛大学）

O-23 「須恵器土器片の岩石磁気学的手法による分類」 畠山 唯達（岡山理科大学）

O-24 「Paleomagnetic data from a Paleocene volcanic dike swarm in Southwest Japan: tectonic implications

」 星 博幸（愛知教育大学）

O-25 「琵琶湖堆積物の高分解能古地磁気・岩石磁気記録」 小田 啓邦（産業技術総合研究所）

O-26 「Preliminary magnetostratigraphy and relative paleomagnetic intensity of IODP Site U1490」 熊谷 祐穂（東京大学）

O-27 「古地磁気によるIODP Exp. 358の掘削コア試料の定方位」 林 為人（京都大学）

14:55-15:00 閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫





# 令和元年度 高知大学海洋コア総合研究センター

## 共同利用・共同研究成果発表会

### プログラム

2月27日(木)

13:00- 13:10

開会挨拶

- 高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一
- 地球掘削科学共同利用・共同研究拠点 課題選定委員会委員長  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門 首席研究員 池原 研

13:10-14:40 (座長：池原 実)

- O-01 「古原生代後期における有機炭素同位体比の変動：カナダ・ケープスミス帯」  
元村 健人, 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大), 佐野 貴司 (国立科学博物館)  
田中 健太郎, 三木 翼, 佐野 有司 (東京大学)
- O-02 「貧酸素環境で堆積した黒色頁岩／黒色泥から抽出された地球化学的独立成分とレアメタル  
元素濃集の関連」  
矢野 萌生, 安川 和孝 (東京大学), 藤永 公一郎 (千葉工業大学), 中村 謙太郎 (東京大学)  
池原 実 (高知大学), 加藤 泰浩 (東京大学・千葉工業大学)
- O-03 「香川県小豆島・豊島における古第三系から得られた試料の元素含有量分析と堆積相解析  
比較」  
山下 祐磨 (信州大学)
- O-04 「薩摩硫黄島長浜湾における鉄質沈殿物の堆積と地層への保存について」  
堀 航喜, 清川 昌一 (九州大学)
- O-05 「泥火山・ガスチムニー・メタンハイドレート」  
松本 良 (明治大学)
- O-06 「日本海北部, タタートラフより産出したメタン由来自生炭酸塩の Sr 同位体比」  
柿崎 喜宏, 松本 良 (明治大学), 石川 剛志 (海洋研究開発機構), 川合 達也 (マリン・ワーク・  
ジャパン)

**14:55-16:10 (座長：浦本 豪一郎)**

- O-07 「チリ三重会合点で何が起きているのかーMR18-06 航海表層コア・熱流量調査速報ー  
Geophysical& geological survey report at the Chile triple junction during MR18-06 cruise」  
木下 正高 (東京大学), 安間 了 (徳島大), 阿部 なつ江 (JAMSTEC), 横山 由香 (東海大海洋)  
太田 耕輔 (東京大学), 西川 友章 (京都大学), 岩森 光 (東京大学), MR18-06 レグ2 乗船研究者一同
- O-08 「ICDP 南アフリカ地下大深度地震発生場掘削コアの高知コアセンターでの非破壊分析」  
小笠原 宏 (立命館大学), 矢部 康男 (東北大学), 廣野 哲朗 (大阪大学), 伊藤 高敏 (東北大学)  
船戸 明雄 (深田地質研究所), 山本 裕二 (高知大学), ICDP DSeis チーム (日本・南アフリカ・  
アメリカ・ドイツ・スイス・インド・イスラエル・オーストラリア)
- O-09 「南アフリカ金鉱山震源近傍掘削計画で採取された断層の物質科学的特徴」  
横山 友暉, 廣野 哲朗 (大阪大学), 小笠原 宏 (立命館大学), 石川 剛志 (海洋研究開発機構)  
ICDP DSeis チーム (日本・南アフリカ・アメリカ・ドイツ・スイス・インド・イスラエル・  
オーストラリア)
- O-10 「リッツォホルム湾の海底堆積物を用いた東南極氷床融解時期とメカニズムの解明」  
菅沼 悠介, 羽田 裕貴, 石輪 健樹 (国立極地研究所), 板木 拓也 (産業技術研究所)  
松井 浩紀, 池原 実 (高知大学)
- O-11 「海底で採取した火成岩の磁気的研究：地殻とマンツルの磁化構造をデータで描く」  
藤井 昌和 (国立極地研究所)

**16:15-18:15 ポスター発表：概要紹介，引き続いてコアタイム (座長：朝日 博史)**

- P-01 「亀裂評価方法確立への挑戦」  
北村 真奈美, 高橋 美紀 (産業技術総合研究所), 岩崎 夏波, 上原 真一 (東邦大学)  
浦本 豪一郎 (高知大学), 廣瀬 丈洋 (海洋研究開発機構)
- P-02 「高接触抵抗を持つ乾燥岩石の抵抗測定手法開発とその性能評価ー電極接触面の観察を通してー」  
鈴木 健士, 吉村 令慧, 山崎 健一, 大志万 直人 (京都大学)
- P-03 「古地磁気学を用いた阿蘇中岳新期山体の完新世溶岩噴出年代推定」  
穴井 千里 (京都大学), 望月 伸竜, 澁谷 秀敏 (熊本大学), 大倉 敬宏 (京都大学)
- P-04 「南海トラフ堆積物コアを用いた過去3万年間の古地磁気永年変動と岩石磁気に関する研究」  
後藤 滝弥, 山崎 俊嗣 (東京大学), 奥津 なつみ (東京大学・海洋研究開発機構)  
芦 寿一郎 (東京大学)
- P-05 「日本海溝地震性タービダイトの磁気特性からみた堆積過程の研究」  
金松 敏也, 臼井 洋一 (海洋研究開発機構), 池原 研 (産業技術総合研究所)
- P-06 「標準試料を用いた XRF コアスキャナー・Itrax の研究室間のデータ比較」  
天野 敦子 (産業技術総合研究所), 黄 致展 (University of Innsbruck), 池原 研 (産業技術総合  
研究所), 村山 雅史, 松崎 琢也 (高知大学)

- P-07 「モンゴルの年縞湖成層から復元する白亜紀中期“温室期”における千年～オービタルスケールの気候変動」  
石川 航輝, 長谷川 精 (高知大学), Ichinnorov N. (モンゴル科学アカデミー)
- P-08 「モンゴル北西部の湖底堆積物から復元する最終氷期以降の古環境変動と植生変遷」  
今岡 良介 (高知大学), 志知 幸治 (森林総合研究所), 長谷川 精 (高知大学)  
勝田 長貴 (岐阜大学), Niiden Ichinnorov (モンゴル古生物地質研究所), 笹岡 美穂,  
村山 雅史, 岩井 雅夫 (高知大学)
- P-09 「北海道東部, 釧路市春採湖で採取した湖底堆積物の高分解能, 高解像度解析  
High-resolution analysis of lake sediments collected from Lake Harutori in Kushiro City, eastern  
Hokkaido, Japan」  
中西 利典 (日本原子力研究開発機構), 七山 太 (産業技術総合研究所・熊本大学)  
香月 興太 (島根大学), 山田 圭太郎 (立命館大学)
- P-10 「秋田県田沢湖湖底堆積物の地球化学的特徴」  
石山 陽子 (秋田大学)
- P-11 「中央北太平洋深海堆積物コアの化学分析に基づく古第三紀前期の超温暖化イベントからの回復過程に関する考察」  
佐藤 孝志郎, 安川 和孝 (東京大学)
- P-12 「日本海東縁, 表層型ガスハイドレート賦存域堆積物の岩石磁気研究」  
下野 貴也, 松本 良 (明治大学)
- P-13 「浮遊性有孔虫の酸素同位体比から見た隠岐周辺の表層水の変化」  
蛭田 明宏 (明治大学)
- P-14 「Benthic foraminifera associated with cold seep environments of Hidaka Trough: Ecology, stable isotope composition and environmental implications」  
Mahsa Saecidi Ortakand (明治大学), Tsuyoshi Mamada (千葉大学), Ryo Matsumoto (明治大学)
- P-15 「上越沖とタートル沖における日本海底生有孔虫化石の炭素同位体比異常」  
大井 剛志 (明治大学), 秋葉 文雄 (珪藻ミナラボ), 角和 善隆, 松本 良 (明治大学)
- P-16 「日本列島とその周辺に分布する漂流軽石の給源推定に関する基礎的研究」  
平峰 玲緒奈 (首都大学東京)
- P-17 「現世河川堆積物を用いた流域の地質情報解析: 諏訪湖流入河川の例」  
葉田野 希 (長野県環境保全研究所)
- P-18 「アンモナイト化石から読み解く炭酸塩コンクリーションの形成環境」  
村宮 悠介 (深田地質研究所)
- P-19 「海洋酸性化がウニの各部位の化学組成と構造に及ぼす影響」  
宮井 里紀 (岡山大学)
- P-20 「ユカタン半島沖の掘削試料から探る白亜紀以降の海洋ストロンチウム循環の復活過程 (IODP Exp. 364 "Chicxulub Impact Crater")」  
武藤 功太 (東邦大学), 石川 剛志 (海洋研究開発機構), 池原 実 (高知大学)  
山口 耕生 (東邦大学・NASA)

- P-21 「Biogeochemical cycles of carbon and sulfur after the K-Pg impact event recorded in the core recovered off Yucatán Peninsula (IODP Exp. 364 “Chicxulub Impact Crater”)」  
小椋 千尋 (東邦大学), 池原 実 (高知大学), 山口 耕生 (東邦大学・NASA)
- P-22 「ユカタン半島沖の掘削試料の鉄のスペシエーションの地球化学：始新世の嫌氣的海洋 (IODP Exp. 364 "Chicxulub Impact Crater") 」  
煙山 優太 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学・NASA)
- P-23 「生物源有機分子イメージングによるシアノバクテリアのバイオマーカー分析」  
齋藤 大樹 (東邦大学), 井尻 暁 (海洋研究開発機構), 池原 実 (高知大学)  
山口 耕生 (東邦大学・NASA)
- P-24 「西オーストラリアクリバービル層における縞状鉄鉱層の観察結果」  
石川 浩平 (九州大学)
- P-25 「7 億年前, エジプト東砂漠地帯中央部における縞状鉄鉱層を含む海洋性島弧層序と地質構造」  
清川 昌一, 鈴木 大志 (九州大学)
- P-26 「薩摩硫黄島／長浜湾における鉄沈殿物の 10 年間のトラップ記録」  
酒本 直弥, 堀 航喜, 清川 昌一 (九州大学)
- P-27 「プチスポット産火山岩中のマンタル及びアセノスフェア由来物質 – 東北沖太平洋超深海底の爆裂火口 (マール) の構成岩石 –」  
石井 輝秋 (静岡大学), 金子 誠 (深田地質研究所), 平野 直人, 佐藤 勇輝 (東北大学)  
町田 嗣樹 (千葉工業大学), 浅見 慶志朗, 秋澤 紀克 (東京大学), 松崎 琢也 (高知大学)



2月28日(金)

9:30-10:45 (座長：氏家 由利香)

O-12 「魚介類地方品種の遺伝的集団構造の把握と日本列島の成り立ちがそれらの集団構造の形成に及ぼす影響」

関 伸吾 (高知大学)

O-13 「海生爬虫類化石モササウルス類の歯の支持様式の検討」

三島 弘幸, 千葉 敏江, 見明 康雄 (鶴見大学), 谷本 正浩 (大阪自然史博物館)

O-14 「現生イタヤガイの微細殻成長と土佐湾の沿岸海況」

近藤 康生, 大江 遼, 大山 晃介, 長谷川 精, 西尾 嘉朗 (高知大学)

O-15 「相模湾産現生種キサゴ *Umboonium (Suchium) costatum* に記録された酸素同位体比プロファイル」

中山 健太郎 (福井県立恐竜博物館), 近藤 康生 (高知大学), 佐藤 武宏 (神奈川県立生命の星・地球博物館)

O-16 「現代海洋における鉛同位体比：これまでの知見と新たなアプローチ」

則末 和宏, 浅沼 大地 (新潟大学), 小畑 元, 蒲生 俊敬 (東京大学), 岡村 慶 (高知大学)  
永石 一弥 (マリンワーク・ジャパン), 石川 剛志 (海洋研究開発機構)

11:00-12:15 (座長：岩井 雅夫)

O-17 「室戸ユネスコ世界ジオパークにおける漂着軽石の起源についての研究」

中村 有吾, 高橋 唯 (室戸ジオパーク推進協議会)

O-18 「後期更新世の浅間火山起源テフラの化学特性とその分布範囲」

青木 かおり (首都大学東京)

O-19 「ItraxとXGTのXRF分析によるX線強度プロファイルの比較と火山起源イベント層の化学的特徴：福島県猪苗代平野地下ボーリングコア試料の例」

長橋 良隆 (福島大学), 片岡 香子 (新潟大学)

O-20 「松本-上田地域に分布する中新世別所層に産する炭酸塩団塊の成因」

森清 寿郎, 小関 和輝, 石田 朋志 (信州大学)

O-21 「鹿児島県中甕島に分布する始新統中甕層を用いた古地磁気層序の確立」

山下 大輔 (薩摩川内市役所)

**13:15-14:45 (座長：山本 裕二)**

O-22 「Diagenetic formation of bedded chert: implications from a rock magnetic study of siliceous precursor sediments」

Alexandra Abrajevitch (愛媛大学)

O-23 「須恵器土器片の岩石磁気学的手法による分類」

畠山 唯達, 八木 千亜希, 白石 純 (岡山理科大学)

O-24 「Paleomagnetic data from a Paleocene volcanic dike swarm in Southwest Japan: tectonic implications」

星 博幸 (愛知教育大学)

O-25 「琵琶湖堆積物の高分解能古地磁気・岩石磁気記録」

小田 啓邦 (産業技術総合研究所), 山本 裕二 (高知大学), 井内 美郎 (早稲田大学)

O-26 「Preliminary magnetostratigraphy and relative paleomagnetic intensity of IODP Site U1490」

熊谷 祐穂 (東京大学), 中村 教博 (東北大学), 山崎 俊嗣 (東京大学), 山本 裕二 (高知大学)

O-27 「古地磁気によるIODP Exp. 358の掘削コア試料の定方位」

林 為人, 杉本 達洋 (京都大学), 山本 裕二 (高知大学), the Expedition 358 Scientists

**14:55-15:00**

閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫

\* 共同利用・共同研究は、国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の協力を得て実施されています。